



令和2年度 4月の園だより



自分のことを自分で決められる子に

お子さまのご入園・ご進級おめでとうございます。これから始まる4月の園生活は、新入園児はもちろんのこと進級児にとっても、しばらくは緊張の毎日になるものと思われま。登園を嫌がるようでしたら、一言担任にその旨をお伝え下さい。

さて、当園の園名の「みみょう」は、仏説阿弥陀経というお経の中の「微妙香潔」から引用したものです。阿弥陀経は極楽を説明したもので、その一説に、池の中には車輪のような大きな蓮の花が咲いている。青いのもあれば、黄色や赤、白のものもある。それらが一斉に自分の色で咲く様子は何とも言えないほど（微妙）、芳しい香りがあり清らか（香潔）であるとあります。園名には、子どもたち一人ひとりが持って生まれた個性を伸ばしてあげたいという願いが込められています。

新年度なので、少し難しいお話をします。今年から小学校の学習指導要領が改訂され、これまでの「教えられたことを正確に理解する学習」だけでなく、「持っている知識を使って、自分が向き合っている問題を解決する力（問題解決型学力）」を重視した学習方法が取り入れられます。また、子どもたちが話し合いの中で思考力や判断力を養う、「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）といわれる学習方法が全教科に取り入れられます。教科書の量も増えます。

言い換えると、受け身の学習から子ども自身が「学びたい、知りたい」と思う意欲や、粘り強く取り組もうとする気持ちを育て、子ども自身が発言し挑戦する学習が増えるということになります。

この問題解決型学力と言われる、子ども自身が「学びたい、知りたい」という意欲は、小学校に入ってから身につくものではありません。誕生後しっかり可愛がられ、励まされながら自分に対する自信である自己肯定感が身につくことが基礎になります。

当園では、3年前から「0歳からの幼児教育－選択と集中そして」をテーマに、子どもたちが自分から行動したくなる主体性を高める教育・保育を進めてきました。

0歳からの幼児教育とは、赤ちゃんの時からしっかりと愛情をそそいでもらい、普通の愛情で満足できることが出発点になります。

可愛がられることで大人に対する安心感と信頼感を持った子は、赤ちゃんのときから大人が好きになり、大人が用意したいろいろな環境に興味や好奇心を持つようになります。

1歳から2歳にかけて行動が広がり、大人への信頼関係が深まると、今度は3歳頃頃から友だちと遊ぶことが好きになり、コーナーあそびやごっこあそびを通して、友達と考えたり工夫しながら、「問題を見つけ解決する力」や「行動する力」、「やり抜く力」、「我慢する力」など、「非認知能力」といわれる目には見えない「やる気」が生まれ、これが小学校以上に望まれる「学びに向かう力」へとつながってゆきます。

保育園における教育と保育の目的は、遊びを通して非認知能力を高めながら、自分のことは自分で決める主体性を育てるところにあります。この自分のことを自分のこととして決める主体性は、園でコーナー遊びやごっこ遊びなど非認知能力を高めるあそびをするだけでは育ちません。主体性を育てる一番大切な鍵は家庭にあります。ご両親が頭ごなしに「ああしなさい。こうしなさい」と命令していたのでは、指示待ちの子どもになります。「できたら褒める」、失敗した時は「なぜ、失敗したのか」を話し合い、お子さんが自分で失敗した原因に気がつくようにしてあげることが、時間がかかっても主体性を育てることになります。

今年度もよろしくお願ひいたします。

理事長 松尾 龍一

年間行事予定

4月 8日(水)	花まつり ※4月に予定されていた「親子遠足」はコロナウイルスの感染拡大防止のために、今年度は中止となりました。
5月16日(土)	★保育参観・ひまわり会総会 小学生交流会
6月20日(土) 21日(日) 24日(水)	★☆◎運動会 ①運動会雨天予備日 ②運動会雨天予備日
7月 3日(金) 30日(木)～ 31日(金)	七夕まつり お泊り保育 (にじ：しろ組)
9月12日(土)	★☆保育参観
10月 未定 17日(土)	いもほり ★☆◎ひのでアート展 (作品展・バザー) 七五三バイキング
11月 9日(月)	
12月 8日(火) 18日(金) 25日(金)	成道会 クリスマス会 餅つき
1月23日(土)	★☆生活発表会(にじ組)
2月 3日(水)	豆まき
3月 3日(水) 19日(土) 27日(土)	ひなまつり会 新入園説明会 ★卒園式(5歳)

・誕生日会・避難訓練・身体計測は、毎月あります。
 ・★印は保護者も参加する行事です。
 ・☆印は祖父母参加行事です。
 ・◎印は地域参加行事です。
 ※行事の日程は変更することもありますので、毎月の行事予定をご確認ください。